

＜北の便りー1, 460ー＞2017. 12. 13版

3360地区チェンライ RC パスト会長便り

「はらだ先生はサンタクロースだよ」 週末ミャンマー、ラオス、タイ国境近くのアカ族子供寮「夢の家」を訪ねた。私を待ちながら「はらだ先生は、サンタクロースだよ」と、11歳のブジェが、この5月から入寮した7歳のアーカーちゃんに、先輩ずらして教えている。アカ族の子供は皆クリスチャンだ。でもこの子たちにクリスマスプレゼントは届かない。なぜならこの子たちは身寄り少なく70%は国籍がない。国籍がないということは、その子がブジェであったり、アーカーである証がないことだ。私はそのことを助けられない。私にできることは、その子たちを生き続けさせることと、識字を身に付けさせることだ。今回私が準備したプレゼントは「肉いっぱいのお食事」だ。「前回この子たちは、いつ肉を食べましたか」を寮母さんに尋ねた。思い出せない。そんな子供にとって、12月の私の訪問は「はらだ先生は、サンタクロースだよ」の意味が分かる。今回もアカ子供4寮146人に給食支援をしてくれたのが「アカ族子供就学支援基金」だ。

